

## マイクロプラスチック調査方法(概要)

マイクロプラスチックとは、5mm 以下の小さなプラスチックごみであり、海の生き物への影響が心配されています。

この調査は、海岸の砂の中にどれくらいマイクロプラスチックがあるかを調べるものです。(調査所要時間は、通常45分程度です。できれば3地点程度調査してみましょう。)

### 1 砂の採取

- 漂着物が帯状になっているところ(満潮線。マイクロプラスチックが多くあるところ)を目安に、縦横 20cmの正方形の区画を設定し、区画内の砂を 2.5cmの深さ(1リットル)までバケツにとります。(海岸の状況に合わせて、大きさ等の変更は可能です。)  
このとき、方形枠を砂浜に埋め、ならし器を使用して、砂を削ぎ取るように採取します。方形枠がないときは、箸と紐で 20cm の正方形をつくり、シャベル等で砂を 2.5cm 深さまでとります。
- とった砂から5mm より大きいごみを除くため、バットの上で5mm 目ふるいにかけます。



満潮線の様子



### 2 マイクロプラスチックの採取

砂粒の大きさや湿り具合を見て、次の2つの方法からどちらかを選んでマイクロプラスチックを集めて、その数を数えます。

#### ① ふるいを使う方法(砂が乾いているとき)

- バットの砂を2mm 目のふるいにかけます。
- ふるいに残ったごみの中から、マイクロプラスチックを選別して、個数を数えます。また、可能な限り、色や形、固さで種類別(分類表参照)に分けて記録します。



#### ② 水を使う方法(砂が湿っているとき、ふるいにかかりにくい砂の大きさのとき)

- バットの砂をバケツに入れ、ひしゃくやポリタンクで水を加えて、よくかき混ぜます。
- 上ずみ液を浮いているごみごと2mm 目のふるいにかけます。
- 上記の作業をもう1回繰り返します。
- ふるいに残ったごみの中から、マイクロプラスチックを選別して、個数を数えます。また、可能な限り、色や形、固さで種類別(分類表参照)に分けて記録します。

